

絆

介護予防の
情報かわら版

問 高齢者支援課

☎ (22) 2111 (内線366)

『なかの なつちよ 隊』

みんなの声をつなげたい



【参加団体】

①中野市社会福祉協議会、②J A 長野厚生連北信総合病院、③ジェイエイ・アップル株式会社、④中野広域シルバー人材センター、⑤北信圏域障害者総合相談支援センター、⑥中野市介護支援専門員連絡会、⑦中野市民生児童委員協議会、⑧NPO法人長野県介護支援専門員協会、⑨長野県健康福祉部介護支援課、⑩中野市豊田支所地域振興課、⑪中野市健康福祉部高齢者支援課

【これまでの話し合い】

①支え合いの地域づくり・中野市の現状、②安心して住み続けられる地域づくりとは、③中野市の地域資源、④どの課題から取り組めるとよいのか、⑤集いの場・ボランティア、⑥意欲・想いのある人たちとの顔の見える関係づくり

支え合いの地域づくり

10〜20年後、安心して年を重ねていくためには、自分たちのまちをどんな地域にしたいでしょうか。

高齢化の進展、地域とのつながりの希薄化、変化した家族・世帯のあり方など、現代社会の中で、住み慣れた地域でできる限り暮らし続けるためには、地域における「お互いさまの助け合い」が重要になってきています。

そんな「支え合いの地域づくり」実現のためには、「地域に住む皆さんそれぞれが「我

が事(自分の事)」として地域への関心を深め、時には担い手として活躍し、互いに支え合うことが大切です。

地域の未来を語り合う

誰もが安心して暮らしていくためにはさまざまな課題やニーズがあり、それに応えていくために多種多様な人材・団体の参加も地域づくりに必要となっていきます。

中野市では多種多様な人材・団体による「地域について語り合い・考える場」である『なかの なつちよ 隊』が

発足しています。

『なかの なつちよ 隊』では、ただ単に生活支援サービスを作ることを目的とはせず、支え合いの地域づくりを目指しています。常に皆さんからの声を聴きながら「地域のニーズと必要なサービスをつなげたい」という想いで、これまで話し合いを重ねてきました。

日常的な営みこそ「宝物」

隣近所とのあいさつやお茶飲みは、地域の中のゆるやかな見守りにつながります。立ち話や趣味の集まり、サロン

などで集うことは社会参加や役割づくりとなり、介護予防へとつながります。

このような地域の中の日常的な営みこそ「宝物」であり、豊かな地域づくりにつながっていきませんが、暮らしの中で当たり前のことになっていて、「地域資源」としては気付かれないことが多々あります。

『なかの なつちよ 隊』では、まず地域の中で今ある「宝物」を見つけ、発信し、深め、広げ、その上で地域で安心して住み続けていくために必要なサービスを創出していきます。

介護予防教室から
自主的に活動する
グループができました



「わかがえり教室」修了者で結成

あおぞら



もりかわ ゆきお
森川治幸さん

各メンバーが他で習ったものを紹介し合うことで、新しいことも覚えられます。みんながいるから楽しく継続できます。



「ひざ腰らくらく教室」修了者で結成

ふくむかい
福夢会



まるやま みさこ
丸山美枝子さん

毎週水曜日に集まって、ゴムバンドとボールを使って体力づくりの体操をしています。みんな仲良く楽しく続けています。

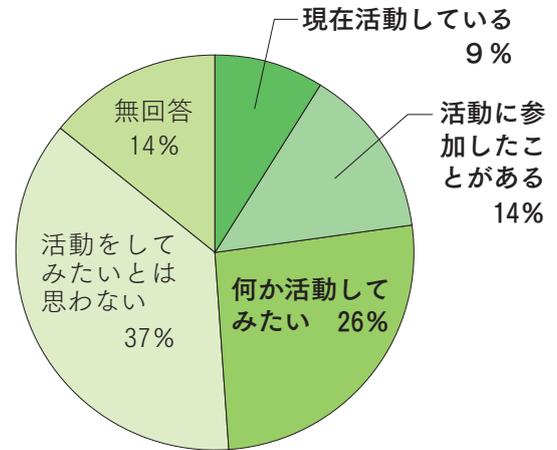
両グループとも新しいメンバーを随時募集中です。他にもグループが発足しています。

平成30年度も「わかがえり教室」「ひざ腰らくらく教室」を開催予定！ぜひご参加ください。

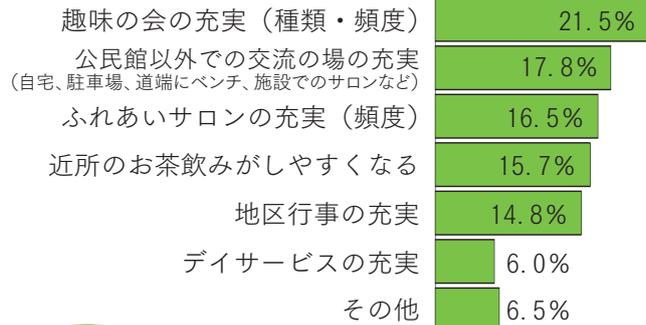
「中野市高齢者の生活支援サービスに関するアンケート調査」

(平成29年4月実施)

ボランティア活動への参加状況・意欲



交流の場への希望



ポイント

半数近くの人がボランティア活動への想い・意欲があり、また、集いの場については、さまざまな形・場所での交流の希望があるということが分かりました。

『なかの なっちょ隊』では、集いの場づくりやボランティアをしている人たちの発表・交流の場の開催を予定しています。活動されている人や、地域づくりに興味がある人など、地域の皆さんでご参加ください。



高齢者支援課
生活支援コーディネーター
こじま しょうこ
小島杏子



民生児童委員
こはし のぶこ
小橋信子さん

10年後、20年後「こんなまちになったらいいな」と思い描く地域を一緒に考え、実現していきましょう！